



S-Stage KIT (1 2 5 c c / S C U T) 取扱説明書

商品番号	: 0 1 - 0 5 - 5 3 0 3
適応車種	フレーム番号
A p e 1 0 0	: H C 0 7 - 1 0 0 0 0 0 1 ~
X R 1 0 0 モタード	: H D 1 3 - 1 0 0 0 0 0 1 ~
C R F 1 0 0 F	: H E 0 3 - 2 4 0 0 0 0 1 ~
X R 1 0 0 R	: H E 0 3 - 1 2 0 0 0 0 1 ~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！使用燃料についてのご注意！

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA (NGK) または、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

このキットを取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このキットは、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。

取り付けの際には、別紙記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

A p e 及び X R 1 0 0 モタードは、このキット単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。

P D 2 2 キャブレターキット：0 3 - 0 5 - 3 2 3 (フィルター付き) 0 3 - 0 5 - 3 2 2 (フィルター無し)

さらなるパワーアップには、当社製マフラーをお勧めします。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものををご使用下さい。

液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

この製品を取り付けるには、別途、L クランクケースカバーガスケット (ホンダ品番 1 1 3 9 4 - K N 4 - 7 5 0) が必要です。別途お買い求め下さい。

⚠注意 この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告 この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

ネジについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。
ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるまで締めましょう。
ネジをゆるめるといことは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すといことはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
ネジを締めるといことは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。
トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。
トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。
工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

～ 商品内容 ～

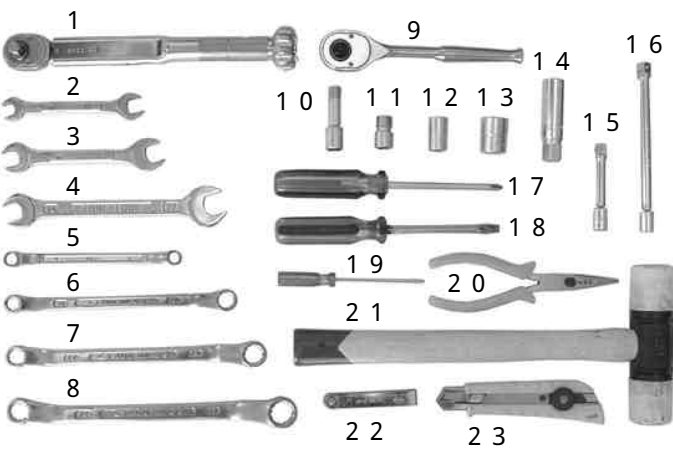


番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1		
2	シリンダー A S S Y	1		
3	ピストンリングセット	1 SET	1 3 0 1 1—K T K—T 3 0	1 SET
4	ピストンピン	1	1 3 1 1 1—K N 4—T 0 0	1
5	ピストンピンサークリップ	2	0 0 0—0 2—1 2 1	6
6	カムシャフト	1	0 1—0 8—0 4 2	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1	1 2 2 5 1—K T K—T 5 1	1
8	シリンダーガスケット	1	0 0 0—1 3—0 6 2	2
9	エキゾーストパイプガスケット	1	0 0 0—1 3—0 5 8	2
1 0	インレットパイプガスケット	1	0 0 0—1 3—0 6 6	4

補修パーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませお願い致します。

内径×行程	総排気量	圧縮比	使用燃料
5 9.4 × 4 5	1 2 4.6 c m ³	1 1.5 : 1	ハイオクタン価ガソリン (リサーチ値：9 7 オクタン価以上)

～ 取り付けに使用する工具一例 ～



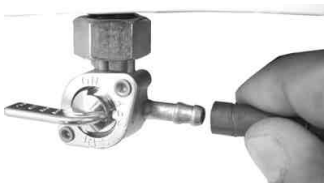
1	トルクレンチ	1 6	エクステンションバー中
2	スパナレンチ 1 0 - 1 2 mm	1 7	ドライバープラス小
3	スパナレンチ 1 2 - 1 4 mm	1 8	ドライバーマイナス小
4	スパナレンチ 1 4 - 1 7 mm	1 9	細軸ドライバーマイナス
5	メガネレンチ 8 - 9 mm	2 0	ラジオペンチ
6	メガネレンチ 1 0 - 1 2 mm	2 1	プラスチックハンマー
7	メガネレンチ 1 2 - 1 4 mm	2 2	シクネスゲージ
8	メガネレンチ 1 4 - 1 7 mm	2 3	カッターナイフまたはスクレーパー
9	ラチェットレンチ		針金等
1 0	ディーブソケット 8 mm		ウエス
1 1	ソケット 1 0 mm		エンジンオイル
1 2	ソケット 1 2 mm		レーシングスタンド
1 3	ソケット 1 7 mm		ジャッキ等
1 4	プラグソケット 1 6 mm		棒ヤスリ
1 5	エクステンションバー小		

～ 取り付け要領 ～

フューエルコックをOFFにします。



サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。
作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。
各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら取り外していくようにして下さい。
取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのがわかるように保管して下さい。
チューブクリップをずらし、フューエルチューブの接続を外します。



● エンジンの取り外し

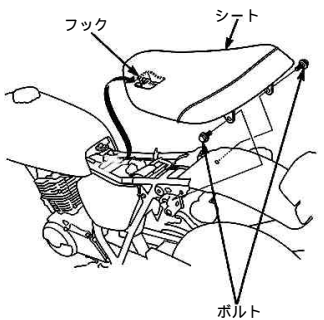
シートとタンクの取り外し

XR100R

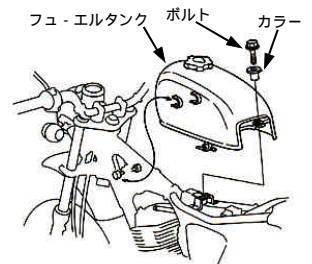
オーナーズ / サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームから取り外します。

Ape100

2本のボルトを取り外します。シートを後方に引いて外します。



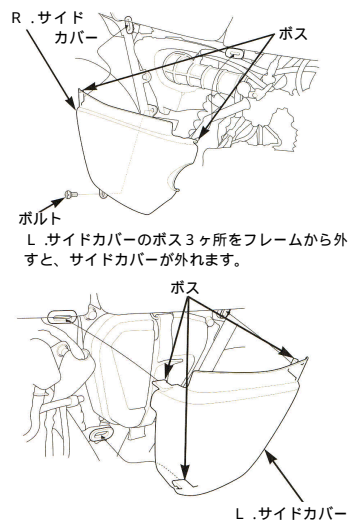
ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。



サイドカバーの取り外し

Ape100

R. サイドカバーのボルトを取り外します。ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



XR100モーター

L / R サイドカバーのフランジボルトを取り外し、L / R サイドカバーを取り外します。



キャブレターの取り外し

キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。



コネクティングチューブバンドのスクリューをゆるめます。

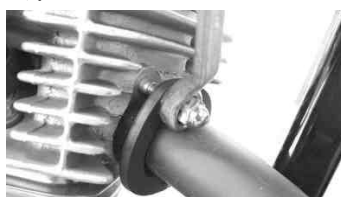


ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。



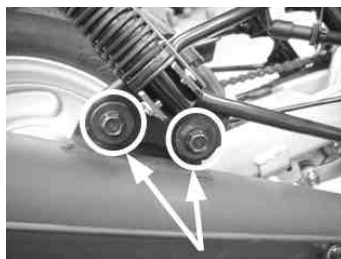
エキゾーストマフラーの取り外し

シリンダーヘッド側のナット2個を取り外します。



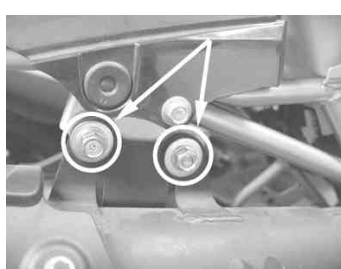
Ape

マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



XR100モーター

フランジボルト2本を取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



スパークプラグの取り外し

プラグキャップを引っ張り、取り外します。必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。

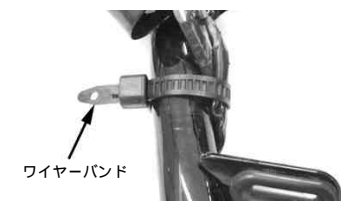


スパークプラグを取り外します。



接続を外す

配線の接続を外します。



ワイヤーバンドを外します。



ブリーザーホースの接続を外します。



クラッチケーブルガイドのナットをゆるめ、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。



ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。

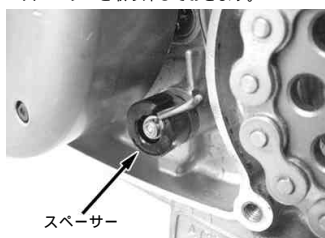


ドライブsprocketの取り外し

L. クランクケースカバーのボルト5本を外し、L. クランクケースカバーを取り外します。



ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
スペーサーを取り外しておきます。



スペーサー

ドライブスプロケットの2本のボルトを外し、フィクシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。



L ステップの取り外し

サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



ボルト2本を取り外し、L ステップを取り外します。



エンジンの取り外し

エンジン下部にジャッキや適当な台等を置き、エンジンを支えます。



フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



下側のナットを取り外します。



まず、上側のボルトを抜き取り、カラー(A p e の場合)とクラッチケーブルガイドを取り外します。



下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



● シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し シリンダーヘッドの取り外し

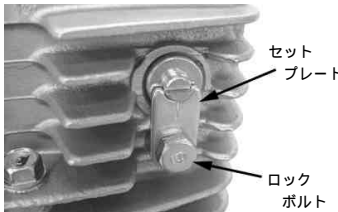
シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。



フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本をゆるめておきます。



ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。



カムスプロケットの6角ボルト2本を取り外します。



カムスプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。



シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。



カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けてゆるめてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。



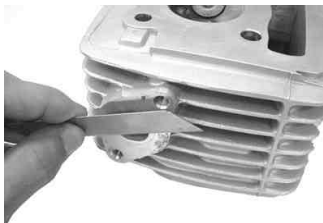
シリンダーヘッドを取り外します。



ノックピン 2 個は、再使用するので取り外しておきます。

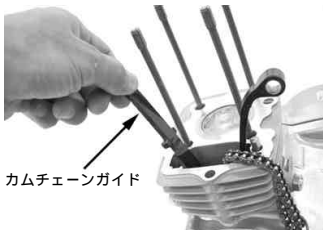


シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

カムチェーンガイドを取り外し、シリンダーを抜き取ります。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



カムチェーンガイド



ノックピン 2 個は、再使用するので取り外しておきます。



ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。



スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

ピストンピンサークリップの片側を取り外します。ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れます。



サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押して外します。



ピストンが外れます。

取り付け面をきれいにする

ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。



ウエスできれいに拭き取ります。



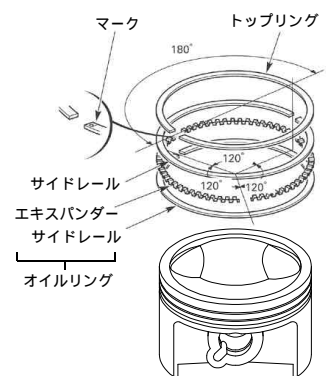
● S - ステージキットの取り付け

ピストンの取り付け

ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取付けることが出来ます。押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



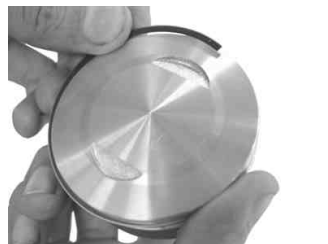
オイルリングエキスパンダーを入れます。



上/下オイルリングサイドレールを入れます。



“ R ” の文字を上にして、トップリングを入れます。



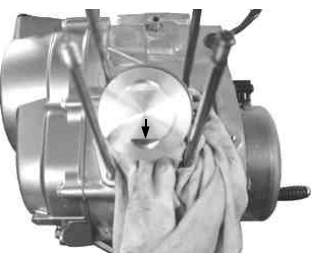
ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンの上面の→が、前(排気側)を向くようにピストンを取り付けます。

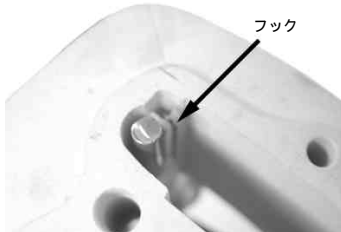


付属のピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



シリンダーの取り付け

カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャスターボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



結んでいたウエスを取り外します。



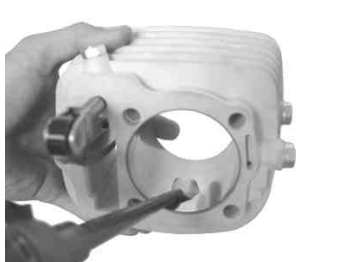
クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。



ロックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



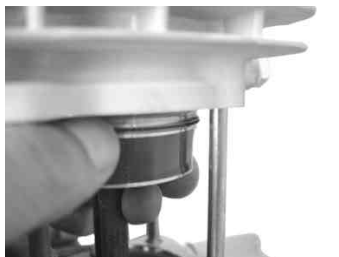
ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



シリンダーを入れていきます。



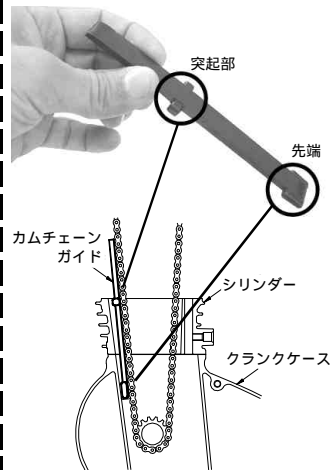
シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。



ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。

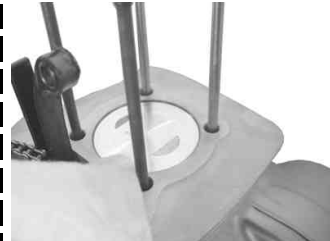


カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わすようにして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け

シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。



ロックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



シリンダーヘッドガスケット

カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



ロックボルトでセットプレートを仮止めします。



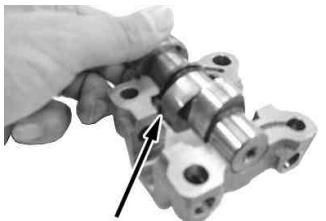
シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしておきます。



カムシャフトとカムスプロケットの取り付け

カムシャフトとカムシャフトホルダーの確認作業を行います。
(キット内のカムシャフトは、ノーマルカムシャフトに比べリフトを増やしています。そのため、カムシャフトホルダーの寸法誤差により、カムシャフトと干渉する場合があります。必ず確認作業を行って下さい。)

カムシャフトホルダーに、キット内のカムシャフトを合わせ、カムシャフトのカム山と、カムシャフトホルダーが干渉していないか確認します。



干渉が無い場合は、そのまま取り付け作業を行います。
干渉がある場合は、カムシャフトホルダーの干渉部分を削り、修正します。

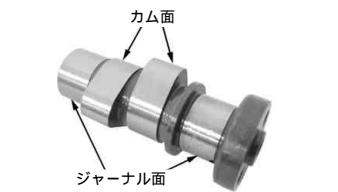
⚠注意：必要外の部分は削らない事。

⚠注意：カムシャフトホルダージャーナル部、ロッカーアーム取り付け部、シリンダーヘッド取り付け面にキズ等を付け無い様、十分注意して作業を行う事。

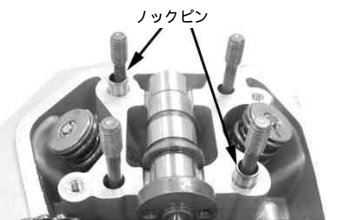


削り修正後、バリやカエリが無いかを確認し、洗浄します。

キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に向けておきます。



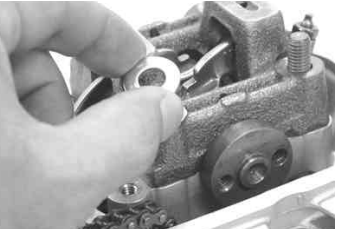
ノックピン2個を取り付けます。



カムシャフトホルダーを取り付けます。



ワッシャー4個を取り付けます。



ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。

規定トルク 20 N・m (2.0 kgf・m)

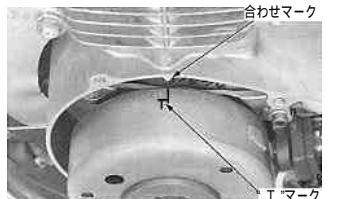


仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。

規定トルク 12 N・m (1.2 kgf・m)



フライホイールの「T」マークがクランクケースの「」マークに合っているか確認します。

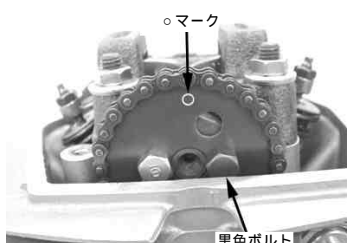


カムスプロケットの「O」マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。



フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、六角ボルトを取り付けやすくします。

カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて六角ボルト2本を手で締め込み、仮止めします。このとき、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付けて下さい。



フライホイールを固定し、カムスプロケットの六角ボルト2本を締め付けます。

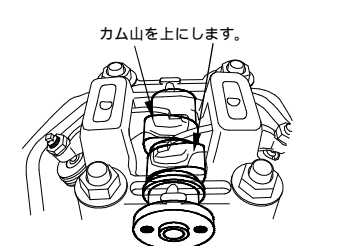
規定トルク 12 N・m (1.2 kgf・m)



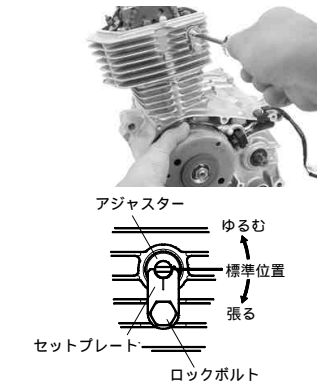
カムチェーンの調整

カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。

フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。



フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの「O」マークを張る方向やゆるむ方向に回してみます。



ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

規定トルク 10 N・m (1.0 kgf・m)



アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。
アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットをゆるめ、アジャストボルトを少しだけゆるめます。



マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

規定トルク 12 N・m

(1.2 kgf・m)

再びアジャスターをまわして、ガタが無く、フライホイールが重くならないところを探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

バルブ隙間の調整

フライホイールを反時計方向にまわして、カムスプロケットの「O」マークが真上を向き、フライホイールの「T」マークがクランクケースの「」マークに合う位置で止めます。アジャストスクリューとバルブ端面の間(バルブ隙間)に0.05 mmのシックネスゲージを差し込みます。



引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。

規定トルク $10\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



ナットを締め付け後、 0.05 mm のシクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。
シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

規定トルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



●エンジンの取り付け

エンジンの取り付け

XR100R

オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。

エンジン下部にジャッキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。
リヤエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。



カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、リヤエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。



ナット2個を仮止めします。



フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮止めします。

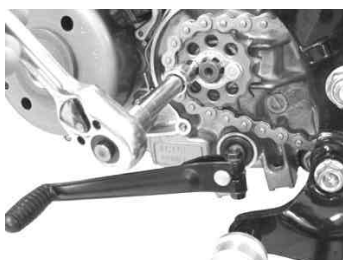


ドライブチェーンを取り付けたドライブsprocketを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮止めしたリヤエンジンマウントのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を本締めします。

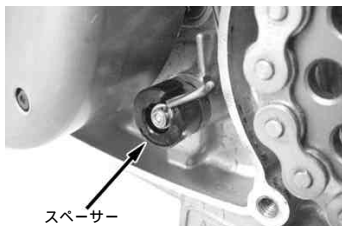
規定トルク
リヤエンジンマウントナット
： $44\text{ N}\cdot\text{m}$ ($4.5\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
フロントエンジンハンガープレートナット
： $26\text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.7\text{ kgf}\cdot\text{m}$)
フィキシングプレートをカウンターシャフトに差し、ドライブsprocketのボルト穴に合わせて、ボルト2本を取り付けます。
規定トルク $10\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.0\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



L クランクケースカバーの取り付け

L クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。
スパーサーを取り付け、L クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。

規定トルク $12\text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.2\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



スパーサー



L ステップの取り付け (Apeの場合)

L ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。

規定トルク $26\text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.7\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。

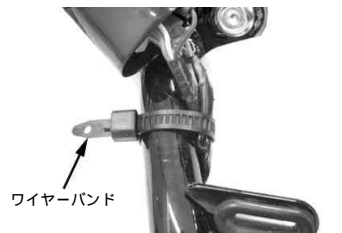


接続

配線の接続を行います。



ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



ワイヤーバンド

ブリーザーホースを接続します。



リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。



スパークプラグの取り付け

スパークプラグを、まず手で締め込みます。
プラグレンチを用いて締め付けます。

規定トルク $14\text{ N}\cdot\text{m}$
($1.4\text{ kgf}\cdot\text{m}$)



プラグキャップを取り付けます。



エキゾーストマフラーの取り付け

XR100R

オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。

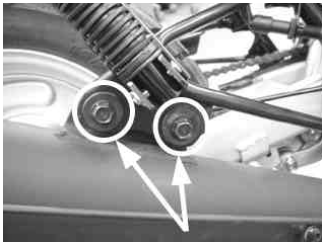
XR100モータード

エキゾーストマフラーを車両に取り付けます。
シリンダーヘッド側のナット2個を仮止めします。



Ape 100

マウントボルトとワッシャを仮止めします。



フランジボルト 2本を仮止めします。

XR100モタード



仮止めた2ヶ所を本締めします。

規定トルク ナット2個
: 12 N・m
(1.2 kgf・m)
マウントボルト
: 20 N・m
(2.0 kgf・m)

キャブレターの取り付け

Ape / XR100モタード

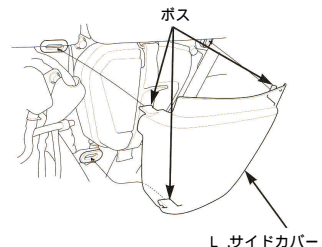
このキットはノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
取り付けは、キャブレターキットの説明書を参照して下さい。

XR100R

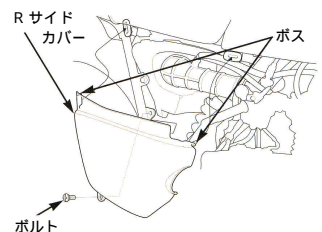
オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いキャブレターを取り付けます。

●サイドカバーの取り付け (Apeの場合) (STDエアークリーナー BOX使用時)

L. サイドカバーのボス3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。



R. サイドカバーのボス2ヶ所をフレームに差し込み、ボルトを取り付けます。

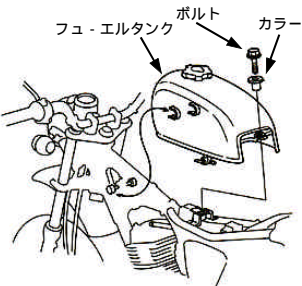


シートとタンクの取り付け

Ape 100

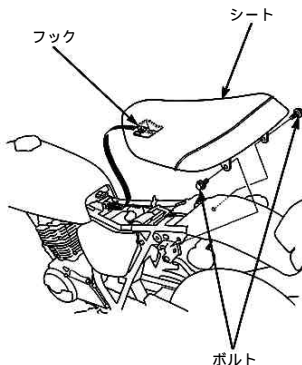
フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。

規定トルク 26 N・m (2.7 kgf・m)



シート裏面の前部のフックをフレームに差し込み、2本のボルトでフレームに取り付けます。

規定トルク 26 N・m (2.7 kgf・m)



XR100モタード

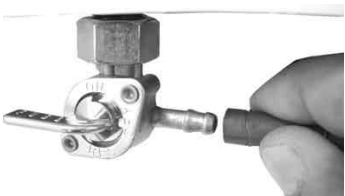
L / Rサイドカバーを取り付け、フランジボルトを取り付け規定トルクまで締め付けます。

規定トルク 8 N・m (0.8 kgf・m)



●フューエルホースの接続

フューエルコックにフューエルチューブを接続し、チューブクリップで固定します。



エンジン始動

- イグニッションキー、ガスコックがOFFになっているのを確認し、スパークプラグを取り外します。
- しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に行きわたらせませす。
- スパークプラグを取り付け、ガスリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。
⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事
⚠ 警告: 必ず換気のよい場所で行う事
- 異音など異常が無いが確認します。
- 異常が無ければ100 km ~ 150 km位までは慣らし運転を行います。
- 慣らし運転終了後、異音やブローバイなど異常が無いが確認します。(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)
⚠ 警告: ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

⚠ 注意

- エンジン組み付け時、規定トルクで締め付けているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んできく場合がありますので、定期的に各ボルト、ナット類を増し締めして下さい。
⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事

●走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケット

スプロケットは、用途に合わせて調整して下さい。ただし、あまりローギヤすぎる設定は、各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジン破損してしまう恐れがあります。適切な設定でご使用下さい。

●その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット(09-07-2155: 4フィン5オイルライン、09-07-2156: 3フィン4オイルライン)の装着をお勧めします。

カムチェーン

出力アップ、エンジン発熱量の増大に伴い、当社製ソリッドカムチェーン、ダイハートα(01-14-005)の使用をお勧めします。

温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。

当社製の下記メーターが使用出来ます。

- ・ミディアムLCDタコメーター&温度計: 09-05-0141 (150°表示)
- ・デジタル温度計: 07-04-053 (99°表示)

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL http://www.takegawa.co.jp